# Web 配信型下水道水位監視システム

## 富士電機システムズ株式会社 様 ご開発

### ■はじめに

富士電機システムズ株式会社様は、社会・産業のインフラ構築のエキスパートとして、お客様のご要望に応え「ソリューション／サービス」を提供されています。同社では、これまで水処理分野などで、計装技術に情報技術を融合した情報・制御システムの企画、設計・開発の多くを手掛けてこられました。そして、昨今の市場要求に応えて開発された同社の Web 配信型下水道水位監視システムで、SL-GMS J/Developer 製品が採用されています。

### ■システムの概要

本システムは、集中豪雨による浸水被害に備え、下水道管渠内の水位を、光ファイバー水位計より収集し、リアルタイムに各端末に Web 配信する目的で開発されたものです。サーバ集中管理型の Web 配信システムであるため、保守性が高く、また容易に監視拠点を増やすことが可能になっています。そして、リアルタイムな情報の画面表示は Java で実現されており、グラフィックな水位の監視で、SL-GMS J/Developer が採用されています。

### ■情報画面の構成

本システムでは、サーバ集中監視によるリアルタイムな情報の画面表示に Java を採用し、系統図（全体、詳細、マルチ）表示、イベント履歴表示、水位トレンド・グラフ表示、日報・月報出力などによって、自動検知データ記録による水位変化をわかりやすく表現しています。特に、各ポイントにおける下水道管渠内の水位をグラフィックな断面図でリアルタイムに表現し、動的なトレンド・グラフを表示する画面では、SL-GMS J/Developer の柔軟な塗りつぶし機能が活用されています。

水道管の断面図は各ポイントでその形状がすべて異なり、さまざまです。一つの動的属性を持った断面図を SL-GMS Draw エディタで対話的に作成し、インスタンスして形状を変更するだけで、各ポイントで異なる断面図を次々と作成できます。後は、SL-GMSDraw エディタがコンパクトで高速な Java アプレット・コードを生成してくれるため、開発・保守面における大幅な工数削減で貢献しました。

### ■おわりに

本システムでは、サーバ集中監視によるリアルタイムな情報今後の展開として、本システムはインターネット上での配信対応に備えたセキュリティ機能の強化、他の情報システムのとのデータ連携対応などが計画されています。また、リアルタイムな情報のグラフィック表示で、開発・保守面での生産性向上を実現できる SL-GMS J/Developer の応用範囲をさらに拡げ、より複雑な画面をコンパクトな Java アプレットとして拡張していく予定です。

下水道管渠内の水位とそのトレンド・グラフを表示する、
SL-GMS J/Developer 画面

◆本事例の一部、または全部の無断転写を禁じます。
◆本事例集に記載されている商品は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

株式会社 SL ジャパン
〒107-0061　東京都港区北青山 2-12-8　BIZ SMART 青山
Tel. 03-3423-6051　info@sl-j.co.jp　www.sl-j.co.jp